

東日本大震災から北海道地域の安全と再生を考える

3月11日、東日本沖で発生した巨大地震は太平洋岸の広範な地域に未曾有の津波被害をもたらしました。同時に、地震と津波の被害を受けた福島第1原発は冷却電源設備の破壊により、旧ソ連チェルノブイリ原発事故レベルの大事故を引き起こし、第1原発の周辺では避難地域が拡大しています。

いま、福島原発では何が起きているのか。また、道内における漁業被害の実状はどのようなものか。この現実を私たちはどのように理解したら良いのか。そのために「いま何をなすべきか」。原発依存から自然エネルギーへの大転換、あるいは住民にとって安心・安全な地域づくりの必要性が強く求められています。一緒に学び考えませんか。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

と き 6月25日(土) 13:00～17:00

* 13:00～13:45 第3回総会(参加は研究所会員のみ)

* 13:45～14:00 講演会受付

* 14:00～14:30 オープニングミニコンサート

会沢芽美(あいざわ めみ)さん「東北と沖縄に心をよせて」

(1998年、沖縄読谷村にうたごえペンション創設。年に百回以上、コンサートや演奏活動で全国を駆け回っている道産子歌手)

* 14:30～17:00 講演会

ところ 札幌市教育文化会館【4階講堂】

(札幌市中央区北1条西13丁目)

011-271-5821

※ オープニングミニコンサートと講演会はどなたでも自由に参加できます

※ 資料代 会員無料、会員外500円(学生200円)

《 第3回通常総会のご案内 》

日時 6月25日 13:00～13:45

会場 札幌市教育文化会館4階講堂

講演会講師の紹介

○テーマ「いま福島原発で何が起きているのか、今後どうすべきか！」

講師 館野 淳氏



(核・エネルギー問題情報センター
常任理事・事務局長、日本科学者
会議員、元日本原子力研究所
研究員、元中央大学商学部教授、
専門:核燃料化学)

館野氏は今回の福島第1原発事故について、テレビや新聞などで、事故の実態と問題点を解かりやすく、鋭く解説して好評です。

○テーマ「本道水産業の被害状況と対応課題
～噴火湾八雲町の養殖被害を中心として～」

講師 宮澤 晴彦氏 (北海道大学大学院

水産科学研究院准教授、日本科学者会議員、
専門:水産経済学)

宮澤氏は北海道の漁業を中心に、常に実態調査を重ねて理論化を図る研究姿勢を貫いています。

○フロアからの質問・意見・討論

主催 【北海道地域・自治体問題研究所】

住所 札幌市白石区菊水3条3丁目2-17 澤田ビル4階

電話 011-837-8261 FAX 011-837-8262